



もみじ湖1万本の紅葉ウォーク

2026.11.09 6km+α

コース
往 路 富士宮駅南口==富沢IC==双葉JCT==八ヶ岳PA(WC)==辰野PA(WC)==伊北IC==
6:30 8:10~25 9:00~15

もみじ湖末広下P(体操は個人で足回りを)
9:50~10:00

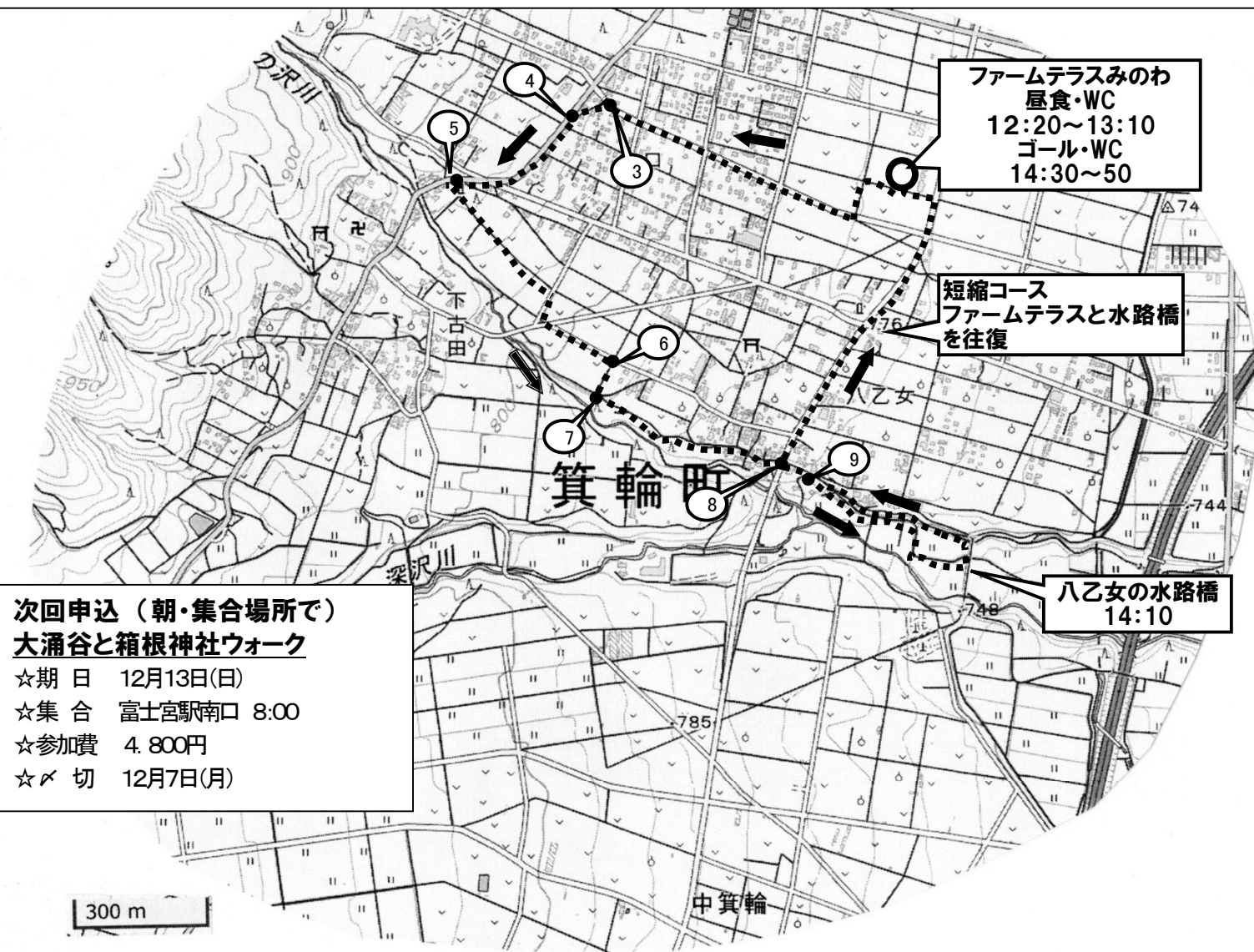
ウォーク もみじ湖末広下P...自由散策...末広下P=====ファームテラスみのわ(昼食・WC)...八乙女の水路橋
10:00 集合は 11:45(出発は 11:50) 12:20~13:10 14:10

...ファームテラスみのわ(ゴール・WC)
14:30~50
復 路 ファームテラスみのわ==伊北IC==双葉JCT==南部IC=道の駅なんぶ(WC)==南部IC=富沢IC
14:50 16:30~50

=富士宮駅南口
17:40

*もみじ湖は自由散策だが、役員が駐車場から散策路を歩いて竹の尾広場(キッチンカーが出店されている)まで歩くので、希望者は一緒にどうぞ。そこからは自由行動で指定の時間までにバスに戻ってください。もみじ湖の田無大橋まで行くことも可能だが、竹の広場からは20分、田無大橋からバスの駐車場までは30分程度(合計50分)かかるので集合時間に遅れないように注意願います。

*午後のウォークを短縮したい方はファームテラスから伊那中部広域農道を歩いて八乙女の水路橋を見に行くことができます。



次回申込(朝・集合場所で) 大涌谷と箱根神社ウォーク

☆期 日 12月13日(日)
☆集 合 富士宮駅南口 8:00
☆参加費 4,800円
☆切 12月7日(月)

緊急時連絡

増田 敏幸 080-1612-4825
佐田 徳子 090-4183-8330

参加者の皆様へ

- ・無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

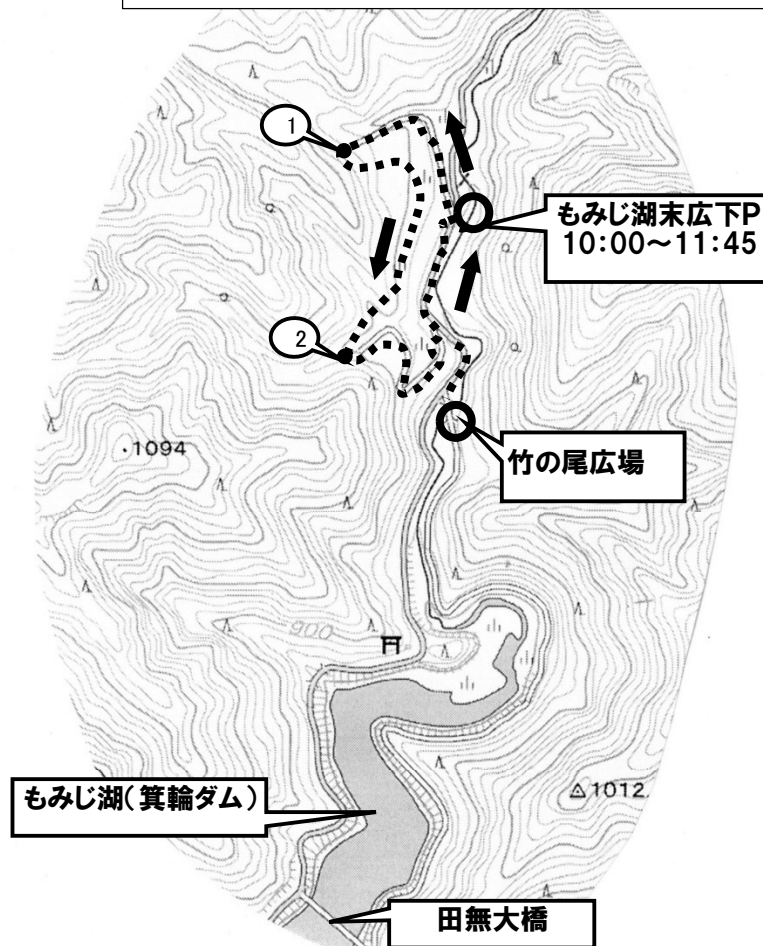
コースの概要

もみじ湖は仮設トイレが少ないため、**伊北IC**手前の**辰野PA**でトイレを済ませます。ここで初参加の方の紹介も行います。**もみじ湖**へ向かう県道は道幅が狭く、交互通行の区間もあるため、コース図どおりの到着時間にならない可能性があります。ただし、駐車場の利用時間は決まっているため、集合時間は必ず守ってください(多少の余裕は見えています)。全員で体操できる場所はないと思われますので、各自で足回りの準備運動をしておいてください。**もみじ湖**では自由散策が基本ですが、役員が**竹の尾広場**(キッチンカー出店)まで約1.5kmの散策路を歩きます。希望者は一緒に歩きましょう。**竹の尾広場**で解散となり、その後は自由散策です。**注意点は行程コラムをご確認ください。**

昼食は**ファームテラスみのわ**です。野菜や果物がリーズナブルに購入できますので、昼食時やゴール後に買い物を楽しめます。午後は昭和3年建設の水路橋を眺めながら、のんびり田舎道を歩きます。スタート直後600mほどは緩やかな上りですが、それ以降はほぼ平坦です。ゆっくり過ごしたい方は**ファームテラス**でショッピングを楽しんでも構いません。**水路橋**だけ見たいけれど長く歩けない方には短縮コースもあります。帰路は**道の駅なんぶ**に立ち寄ります。

もみじ湖(箕輪ダム)

長野県上伊那郡箕輪町にある箕輪ダムは1992年に完成した、高さ72メートルの重力式コンクリートダムで「もみじ湖」の名称で親しまれている。洪水調整と流水の正常な機能の維持、伊那谷北部の上水道用水として、人々の暮らしや、自然を守っている。湖畔に約1万本のもみじが植栽された全国屈指の紅葉名所である。秋には青い湖面と燃えるような紅葉のコントラストが絶景を描き、大手旅行情報サイトで日本一に選ばれた実績を持つ。



八乙女の水路橋

八乙女の水路橋(旧深沢川水路橋)は、長野県上伊那郡箕輪町にある歴史的な建造物(水路橋)である。大正時代から昭和初期にかけて造られた「西天竜幹線用水路」が、深沢川の谷をまたいで水を運ぶために昭和3年(1928年)に建設された。全長145m、幅約3m。約100年前に建てられた歴史的な土木構造物であり、「日本の近代土木遺産」にも選定されている。昭和13年(1938年)頃に、川の底をくぐる「深沢サイフォン」という新しい送水設備が完成したため、水路橋としての本来の役割を終えた。その後は、水路部分が埋められるなどして地域住民の生活道路(人道橋)として長く活用されてきた。どこか懐かしいノスタルジックな景観から、妻夫木聡主演映画『さよなら、クロ』の通学シーンの撮影地としても使用され、観光スポットや散策路として愛されてきた。残念ながら長年の老朽化が進んだため、2026年4月をもって完全に全面通行止めとなった。通行禁止を前に、2026年4月4日には地域住民らによる「渡り納め」のイベント(ラスト・ウォーク)が開催され、多くの人が名残を惜しんだ。現在は橋を渡ることはできない。